

平 22 年 4 月 14 日

六甲山自然案内人の会 定例観察会

多彩な春の草花と逆瀬川一望の景観 報告書

六甲山自然案内人の会 第 4 班

◎ 新年度 4 月第 1 回目の定例観察会へ本年 2 月当班の定例観察会に続き多数のご参加をいただき、ありがとうございました。今回のコース社家郷山は、文字が示す様に元来は西宮神社、社家の方々の持ち山で全山松が多く、マツタケの宝庫であったが環境の変化で、松が無くなり変わりに登山口にコナラの幼木を置いて、登山者に植樹を呼びかけコナラ林が再生され、落葉により保水が増し動植物に好影響を与えている。

◎ 社家郷山「馬の背」より北谷筋に花崗岩の風化崩壊した「逆瀬川砂漠」と呼ばれていた跡を見ることが出来る明治時代逆瀬川は大雨のたびに氾濫、明治 28 年六甲山系で最初の植林による砂防工事を行う。明治 32 年に「ゆずり葉緑地公園」に玉石積流路堤防が作られる。昭和 13 年の阪神大水害で芦屋川・住吉川は大被害を受けるも、逆瀬川流域は被害極小砂防堰堤の威力が立証され、全国の河川に普及する切掛けとなった場所を観察することができた。

◎ 高度的には、檜ヶ峰（461.1m）の山ですが、残り 200m 位より急激な登りと、馬の背の様に崩壊が進んでいて道が狭いため、参加者全員を 3 つのグループ分け、各グループ毎の責任で、決められたポイントの通過時間や説明・安全の確保等をお願いして観察に入る皆さんの協力やサポートにより、楽しい観察会が出来ました。

1、実施日時&天候 平成 22 年 4 月 10 日（土）10:00～15:04（バス出発時間） 晴

2、参加者数 会員 22 名 一般参加者 42 名 計 64 名

3、コース設定

10:00 受付→10:15 分出発→10:50 四季の道出発→11:15 長谷原出発→檜ヶ峰コース馬の背
岩 12:45 昼食→13:15 逆瀬川の眺望説明 13:25 出発→西三ツ辻出合 13:45 通過→14:15 東屋
14:25 出発→14:45 かぶとやま荘バス停到着点呼解散→15:15 さくらやまなみバス乗車

4、観察と説明

①キャンプ場入口～四季道の出合

クロモジ・ヒサカキ・オオバヤサブシ&ヒメヤシャブシ・コバノガマズミ・ヤマウルシ
イヌザンショウ・メダラ・ヤマコバシ・クロモジ・ネコヤナギ（コープの森）

②四季道の出合～檜ヶ峰コース登山口

ヒサカキ道左右に雄木・雌木・ソヨゴ幼木群生・ホウノキ・リョウブ林・マルバアオダモ

③ 急な登り～檜ヶ峰尾根～西三ツ辻出合

スノキ・タカノツメ・ウラジロノキ・コナラの虫こぶ？癌腫病・巨木が多い・シキミ・
ムベ・コウボウキの群生花時期が楽しみ・ネジキ&ソヨゴの群生

④西三ツ辻～東屋～バス停

ヒトツボクロ・ヤブクジ・アカメガシワ・タバノキ・ビョウヤナギ 以上

